

**【本科】**

**北海道大学  
科学技術コミュニケーター養成ユニット  
(CoSTEP)**

**受講生募集要項  
2008年度 第1次募集**

## 1. 応募資格

応募できるのは、次の2つの要件を満たした方です。

- (1) 大学を卒業した方、またはそれと同等のリテラシーを有する方
- (2) ユニットで学んだことをもとに、将来にわたって継続的な科学技術コミュニケーション活動を行なっていくという意欲に溢れる方

\*ここにいう「継続的な科学技術コミュニケーション活動」は、科学館など既存の組織・機関に關係しての科学技術コミュニケーション活動に限りません。Web ページでの情報発信、地域の人々のサークルや井戸端会議を通してのコミュニケーション活動など、様々なタイプの独創的な活動を含みます。

## 2. 本科コースの募集人員と内容

募集人員:20~30名

内容:

■科学技術コミュニケーターとして、自らが中心となって様々な科学技術コミュニケーション活動を組織できる総合的な知識・スキルを修得します。

■講義、演習、集中演習、実習を必修科目として受講します。

\*2007年度以前に、科学技術コミュニケーター養成ユニットを本科生として修了した方は、応募できません。2007年度以前に、科学技術コミュニケーター養成ユニットの選科生であった方は、2008年度の本科に応募することができます。過去に選科生として科学技術コミュニケーター養成ユニットを受講した方は、2008年度の講義の一部について、すでに修得済と見なすことができる場合もあります。詳細については、開講後のガイダンスで説明します。

## 3. 開講期間

2008年5月10日~2009年3月14日

開講式・ガイダンスは2008年5月10日です。修了式は2009年3月14日です。(「8.3 開講式・ガイダンスと特別授業」もご覧ください。)

授業の日程や概要については、「8. 履修科目」をご覧ください。

## 4. 受講申込みの方法

### 4.1 受付期間

受講生の募集を、下記のとおり行ないます。

第1次募集:2008年4月1日(火)~4月21日(月)

第2次募集:2008年4月30日(水)~5月6日(火)

\*第2次募集は行なわないことがあります。第2次募集を行なうかどうかは2008年4月30日に、科学技術コミュニケーター養成ユニットのウェブサイトで発表します。

## 4.2 提出書類

受講を希望する方は、次の書類を提出して受講を申し込んで下さい。

- (1) 受講申込書(所定の様式)
- (2) 志望理由書(所定の様式)
- (3) 課題文(所定の様式)
- (4) ハガキ(申込み受付番号連絡用:おもてに申込者の住所・氏名・郵便番号を記入してください)

\*上記書類が不備の場合は、申し込みを受付できない場合があります。

\*本科を希望される方は、第二希望として、選科Aまたは選科Bのいずれかを併願することができます。

## 4.3 提出先

受講申込みの書類は、下記の宛先まで簡易書留で郵送する(受付期間内に必着するようお送り下さい)か、直接持参(月曜～金曜の午前9時～正午または午後2時～5時)して下さい。

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目  
北海道大学 科学技術コミュニケーター養成ユニット 事務室  
(北海道大学理学部本館 N221 室)

## 5. 受講生の選抜方法

書類選考と面接により、選抜します。

書類選考は、受講申込書、志望理由書、課題文をもとに行ないます。

書類選考に合格した方については、2008年4月26日(土)または27日(日)に面接を行ないます。

書類選考の結果については、2008年4月23日(水)の夕方に科学技術コミュニケーター養成ユニットのウェブサイト、書類選考合格者の申込み受付番号および面接日時を発表します。

## 6. 合格者の発表

2008年4月30日(水)に科学技術コミュニケーター養成ユニットのウェブサイト、合格者の申込み受付番号を発表します。

## 7. 受講料

受講料は無料です。

ただし、教材費として20,000円をいただきます。

\*このほかに、一部の授業では、教科書もしくは参考書を購入していただくことがあります。

また、実習時の交通費などについて実費を負担していただくことがあります。

## 8. 履修科目

### 8.1 必修科目

本科は、以下の科目を必修科目として履修します。

科目	日時	受講形態	授業数
講義	水曜日 18:00 - 19:30	教室で受講、または e-Learning	27
本科演習	土曜日 10:00 - 12:00	教室で受講	21
集中演習 (2日間)	8月30, 31日か9月13, 14日の2日間の、 いずれかを選択。両日とも 10:00 - 18:00 (予定)	教室および学外の会場で受講(選 科Aと合同)	6
実習	土曜日 13:30 - 15:30 (5月11日の特別授業を含む)	教室で受講 4つの実習から1つを選択 (別紙3を参照)	27

\* 原則として、講義、演習、実習の授業がそれぞれ月に3回あります。(別紙1のカレンダーを参照)

\* 集中演習では、制作した作品(ミニ・サイエンスカフェ)を札幌市中央区の Apple Store で上演する予定です。

\* 実習の内容に関しては、別紙3を参照ください。

\* 実習では、必要に応じて授業時間外に作業する場合があります。

### 8.2 選択科目

本科は、以下の科目を選択履修(任意)することができます。

科目	日時	受講形態	授業数
講義アーカイブス	通常の講義を補完するものを中心に、 e-Learning 限定で開講します。	e-Learning	未定
ライティング 特別演習	6月10日 - 7月8日 火曜日 18:30 - 20:00	教室で受講 定員 20名(本科・選科A・選科B合 同)	5
ジャーナリズム 特別演習	6月 - 2009年1月 土曜日 16:30 - 18:00	教室で受講 定員 20名(本科・選科A・選科B合 同)	11

### 8.3 開講式・ガイダンスと特別授業

開講第1日、第2日は、以下のような内容で授業を行ないます。

5月10日(土) 13時00分～18時00分

開講式・講演

ガイダンス

ウェルカムパーティ

5月11日(日) 9時00分～16時30分

特別授業1:実習入門

特別授業2:ワークショップ

## 8.4 その他

予めカリキュラムに用意された内容以外に、教員の指導のもとで、受講生自ら科学技術コミュニケーションに関する企画を提案し、実施することができます(実現可能性などの審査があります)。たとえば、博物館の展示企画、児童向けワークショップ、出前授業、映像作品制作、広報誌制作、模擬コンセンサス会議などが考えられます。

## 9. 修得・修了の要件

各科目は、別紙 2 に示された「修得の要件」を満たしたときに、修得したと認めます。各科目に関する評価は、「修得」もしくは「未修得」のいずれかとし、優良可や点数で評価することはしません。

必修科目をすべて修得した方には、科学技術コミュニケーター養成ユニットの「修了証」を授与します。

## 10. e-Learning での受講について

### 10.1 「講義」科目の e-Learning 配信

「講義」科目は、e-Learning でも受講できます。授業修了後、受講生用のウェブページで視聴できるように配信します。約 1 ヶ月間、自由に視聴できます。

\* 演習、実習は e-Learning での受講はできません。

### 10.2 e-Learning で受講するための環境

e-Learning で受講するには以下の 2 つの環境を満たしている必要があります。

- (1) パソコンに Windows 版の IE(インターネット・エクスプローラー)がインストールされており、それでウェブページを閲覧することができる。
- (2) インターネットで配信される、動画と音声を含むコンテンツを快適に見ることができる程度に、インターネット接続が高速である(ADSL 接続や光ファイバー接続など)。

IE は Windows 版に限ります(Mac 版は不可)。e-Learning では、著作権等の関係で授業の一部が配信できない場合があります。なお、「e-Learning で受講するための環境」が整っているかどうか、実際に確認していただくことができます。詳しくは、科学技術コミュニケーター養成ユニットのウェブページでお知らせいたします。

## 11. 問い合わせ先

受講申込みに関する問い合わせの際は、下記までご連絡下さい。

〒060-0810 札幌市北区北 10 条西 8 丁目

北海道大学 科学技術コミュニケーター養成ユニット 事務室

(北海道大学理学部本館 N221 室)

電話 011-706-3276

e-mail office@costep.hucc.hokudai.ac.jp

受講申込書は、以下のウェブサイトからダウンロードできます。

<http://costep.hucc.hokudai.ac.jp/>

## 2008 年度 本科コース 年間スケジュール

必修科目	講義	18:00~19:30	e-Learning での受講も可
	演習	10:00~12:00	
	実習	13:30~15:30	
	集中演習	10:00~	2日間の通学。8月または9月のどちらかを選択

選択科目	ライティング特別演習	18:30~20:00	担当：山下好孝・留学生センター教授
	ジャーナリズム特別演習	16:30~18:00	担当：隈本邦彦・客員教授

その他の行事	開講式・修了式 など
--------	------------

### 5

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 憲法記念日
4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7	8	9	10
						開講式 ガイダンス
11	12	13	14	15	16	17
実習入門 ワークショップ			講義			演習 実習
18	19	20	21	22	23	24
			講義			演習 実習
25	26	27	28	29	30	31
			講義			演習 実習

### 6

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
						演習 実習
		ライティング特演	講義			ジャーナリズム特演
15	16	17	18	19	20	21
						演習 実習
		ライティング特演	講義			
22	23	24	25	26	27	28
						演習 実習
		ライティング特演	講義			ジャーナリズム特演
29	30					

# 7

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		ライティング特演				
6	7	8	9	10	11	12
		ライティング特演	講義			演習 実習 ジャーナリズム特演
13	14	15	16	17	18	19
			講義			演習 実習
20	21 海の日	22	23	24	25	26
			講義			演習 実習 ジャーナリズム特演
27	28	29	30	31		

# 8

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
						集中演習 (9月13~14日 を選択することも できます)
31						
集中演習 (9月13~14日 を選択することも できます)						

# 9

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
			講義			実習
7	8	9	10	11	12	13
			講義			集中演習 (8月30~31日 を選択することも できます)
14	15 敬老の日	16	17	18	19	20
集中演習 (8月30~31日 を選択することも できます)			講義			
21	22	23 秋分の日	24	25	26	27
			講義			演習 実習 ジャーナリズム特演
28	29	30				

# 10

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 演習 実習
5	6	7	8	9	10	11 演習 実習
			講義			ジャーナリズム特演
12	13 体育の日	14	15	16	17	18
			講義			
19	20	21	22	23	24	25 演習 実習
			講義			ジャーナリズム特演
26	27	28	29	31	31	

# 11

日	月	火	水	木	金	土
						1 演習 実習
2	3 文化の日	4	5	6	7	8 演習 実習
			講義			ジャーナリズム特演
9	10	11	12	13	14	15
			講義			
16	17	18	19	20	21	22
23 勤労感謝の日	24 振替休日	25	26	27	28	29 演習 実習
			講義			ジャーナリズム特演
30						

# 12

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6 演習 実習
			講義			
7	8	9	10	11	12	13 演習 実習
			講義			ジャーナリズム特演
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23 天皇誕生日	24	25	26	27
28	29	30	31			

2009 / 1

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
			講義			演習 実習 ジャーナリズム特演
11	12 成人の日	13	14	15	16	17
			講義			演習 実習
18	19	20	21	22	23	24
			講義			演習 実習
25	26	27	28	29	30	31

2

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
			講義			実習
8	9	10	11 建国記念の日	12	13	14
						実習
15	16	17	18	19	20	21
			講義			実習
22	23	24	25	26	27	28
			講義			

3

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
						2008年度修了式
15	16	17	18	19	20 春分の日	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

## 別紙2

### 本科コース

科目		種別	修得要件	授業数
講義	講義	必修	・すべての授業を受講(教室あるいは e-Learning) ・年間9本程度のレポートを提出	27
	講義アーカイブ	選択	なし	未定
演習	本科演習 (ライティング・スキルを中心に)	必修	・出席率 70%以上 ・所定の課題を提出	21
	集中演習 (ファシリテーション・スキルを中心に)	必修	2 日間とも出席のこと	6
	ライティング特別演習	選択	出席率 70%以上	5
	ジャーナリズム特別演習	選択	出席率 70%以上	11
実習	実習 (5 月 11 日の特別授業を含む)	必修	・4 つのコースから 1 つを選ぶ ・出席率 70%以上	27

## 別紙3 実習

### 実習

実習では、講義や演習で学び高めたスキルを生かし、学外に成果を問うていきます。インターネットや新聞を使った情報発信、地域での科学イベントの実施など、様々な科学技術コミュニケーションの実践を行います。

本科は、以下の4つの実習から1つを選択して履修します。

(＊教員の判断により、選科生も若干名実習に参加できる場合があります)

実習名	概要
対話の場の創造実習	サイエンスカフェやコンセンサス会議の企画・運営を受講生自らが行うことにより、多様な人々が参加して科学技術の話題について語り合う場を生み出すスキルを実践的に学びます。とくに、イベントの企画立案やリサーチ、ゲストとの交渉、広報のためのコピー作成、ワークショップのプログラムデザイン、ファシリテーションなどのスキルアップを目指します。
ビジュアルコミュニケーション実習	サイエンスカフェのテーマや受講生自らが抱えているテーマを視覚的に表現することで、コミュニケーションのスキルアップを目指します。テーマ内容や企画の意図をくみ取りながら魅力的なポスターやチラシを制作、印刷、配布するといった一連のプロセスを体験し、“デザインとは何か”、“何をデザインするのか”を学びます。
キャンパスリソース発信実習	映像番組やラジオ、ポッドキャスト番組の企画・制作を行うことで、音声・映像メディアを使ったコミュニケーションのスキルを身につけます。大学内の人・モノ・自然などをテーマとしながら、より広い社会とのつながりを持ったメディアの創造を目指します。
新聞コンテンツの制作と活用実習	北海道新聞夕刊連載の図解記事「週刊フムフム」を対象として、ニーズ調査と記事活用支援のための読者参

	<p>加型プログラムを企画実施します。また、同記事のうち一回分を、連載担当記者の指導を受けながら制作します。これにより、新聞コンテンツの制作過程を体験的に学ぶと同時に、コンテンツ単体を超えた幅広い文脈でのメディア戦略を構想する力を身につけます。（※本実習は、北海道新聞と北海道大学の連携プロジェクト「北プロ」の一環として位置づけられ、北海道新聞ならびに北海道新聞情報研究所の協力を得て実施されます。）</p>
--	--